



12/5 地方を元気に アイデア提案



内閣府主催の「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2019」で、新居浜商業高校の2年生3人と市職員2人(武田・日野チーム)がそれぞれ、四国経済産業局長賞を受賞しました。市役所では表彰式があり、5人に表彰状が贈られました。

高校生・中学生以下の部で受賞した新居浜商業高校は、高橋遙さん、久保美咲さん、緒方木葉さんが観光客の市内周遊に向けたスタンプラリーを提案。全国審査会にも駒を進め、高橋さんは「市をしっかりとPRしたい」と意気込みを見せました。

※全国審査会では協賛企業賞を受賞。

12/6 木梨さん個展 「明るい気持ちに」



あかがねミュージアムで開催していた展覧会「木梨憲武展 Timing 一瞬間の光り」に合わせ、人気タレントの木梨憲武さんが新居浜市を訪れ、個展への思いを語りました。

木梨さんは展覧会が始まる2日前に会場入り。妻・成美さんとともに展示に携わったとし、「難しい作品はほぼなく、明るい気分になるものを持ってきた」とこだわりをのぞかせました。

木梨さんは、人の手や家、街など、身近にあるものをモチーフに作品を制作。会場にはカラフルで独創的な作品が勢ぞろいし、県内外から多くのファンが詰めかけました。

12/7 開館5年目で100万人突破



平成27年7月にオープンしたあかがねミュージアムの入館者数が、延べ100万人を突破しました。

節目の来場となったのは、松山市の森岡賢一郎さん一家。「木梨憲武展」を見るため、初めてあかがねミュージアムを訪れたそうです。

記念セレモニーでは、市長とともにくす玉を割って100万人到達を祝福。市長から展覧会の図録やペアグラスなどの記念品が贈られました。

森岡さんは「木梨憲武展の初日ということで楽しみに来館したら100万人目。びっくりしました」と驚きを隠せない様子でした。

12/8 秋色のコース 1600人が疾走



山根市民グラウンドを発着点とする「第3回あかがねマラソン」が開かれ、約1,600人のランナーが全4コースで健脚を競いました。

小学生と中学生女子向けの1km、2kmコースでは、号砲の合図とともに子どもらが軽快にスタート。中学生男子・高校生以上対象の5km種目では、参加者が思い思いのペースで楽しみました。ハーフマラソンは、高低差約300mというランナー泣かせのハードなコース。1位でゴールした武村佳尚さんは「上りはきつかったが、下りは景色がきれいで気持ちが良かった」と晴れやかな笑顔で語りました。

12/20

地道な植栽で緑綬褒状



市内に花を植え、美しいまちづくりに取り組むボランティアグループ「愛花人」が、令和元年秋の褒章「緑綬褒状」を受章しました。

緑綬褒状は長年にわたって社会奉仕活動に従事し、顕著な実績を挙げた団体に贈られます。愛花人は平成10年に活動を開始。現在は約140人が公園や市道などへの植栽、清掃活動に取り組んでいます。

受章は20年以上にわたり、美しいまちづくり(花いっぱい運動)に貢献してきたことが評価されました。市長は「これからも美しいまちづくりに協力してほしい」と祝意を表しました。

12/24

ベスト8ヘワンチーム



全日本U-12サッカー選手権大会(12/26～29、鹿児島)に県代表として出場する新居浜市少年サッカースクール高津教室の選手らが市役所を訪れ、氣勢を上げました。

高津教室の出場は23年ぶり。県予選での戦いを振り返った後、一人一人が全国に向けて決意を發表しました。

キャプテンの浅井琉希君(高津小6年)は「みんなで一つになって、ベスト8を目指す」と奮起。市長は「ベスト8と言わず、優勝を目指して、新居浜や愛媛のためにいい試合をしてほしい」と選手たちの背中を押しました。

12/26

大ジャンプで全国制覇



跳び箱日本一決定戦「ジャンピングMAX2019」の小学6年生女子部門で優勝した國峯美智さん(大生院小)が、報告のため市役所を訪れました。

体操教室の友人に誘われたのがきっかけで跳び箱を始めたという國峯さん。岡山県で開催された決勝大会での記録はなんと18段。高さは約2mにも及びます。

4年生のとき、既に16段を跳んでいたのですが、「6年生になってから初めての大会だったので不安もあった。自己ベストより高く跳べてうれしかった」と笑顔。「中学生になっても出場し、記録を更新したい」とさらなる飛躍を誓いました。

12/26

料理の匠 卓越した技で受賞



卓越した調理技能と長年の功績が認められ、篠原伸明さん(欧風レストラン SHINOHARA)と中矢隆治さん(リーガロイヤルホテル新居浜)が技能関連表彰を受けました。

篠原さんはフランス料理店のシェフ。西洋料理として四国初となる「全技連マイスター」に認定されました。篠原さんは「プレッシャーはすごくある。どこに行っても恥ずかしくないように頑張りたい」と謙虚な姿勢で語りました。

中華料理人の中矢さんは優秀技能者県知事表彰を受賞。「賞の名に恥じぬよう精進し、若手育成にも力を入れたい」と微笑みました。